★ ――――――――――――――――――――――――――――――――――― ★

☆☆★　　いわて マナビィ マガジン　　★☆☆

☆★　　No.117　　2016. 8.12.　　★☆

★ ――――――――――――――――――――――――――――――――――― ★

**********　ＩＮＤＥＸ　**********

１．センター便り　『生涯学習推進センターの相談機能』
２．教振なう！　　『最新情報を「まなびネットいわて」で！』
３．編集後記　　～ピエロが行く！～

★ ――――――――――――――――――――――――――――――――――― ★

１．センター便り　『生涯学習推進センターの相談機能』

★ ――――――――――――――――――――――――――――――――――― ★

市町村の社会教育関係職員及び生涯学習・地域づくり関係職員、読書や子育て支援のボランティア、放課後子ども教室及び放課後児童クラブ等関係者、保育園・幼稚園・学校の先生をお招きして研修事業を行っている当センターですが、社会教育・生涯学習の推進や家庭教育・子育て支援のための電話相談も行っています。ご自身が活用されるほか、多くの関係者の皆様にもご紹介いただきたいと思います。

〇生涯学習電話相談『マナビィコール』〔直通電話 0198－27－4563〕

・講演会の講師の紹介
・県内外の先進的な取組・実践の紹介
・視察研修の訪問先の紹介　　など

社会教育・生涯学習及び教育振興運動の推進、事業企画・学習活動の実施に関するお問い合わせに、一週間以内でご回答をしています。連日、絶えることなく電話がきています。お気軽にご相談下さい。

〇子育て電話相談『すこやかダイヤル』〔直通電話 0198－27－2134〕

・子育ての仕方や不安、ストレスについて
・子どもの行動・性格、発達障がいの心配について
・いじめや不登校、ひきこもりについて
・保育園、幼稚園、学校への不満や不安について
・他の保護者とのつきあいや家族内の人間関係について　など

年末年始以外は、子育てや教育の経験豊富な専門相談員が常駐して対応（平日 10 時～17 時；その他の日・時間は留守番電話・FAX で受付）しています。多様な相談、幼少期から青年期まで継続しての相談等に対応している実績ある相談機能です。何でもご相談下さい。また、子どもが寝た後にゆっくり相談したいという方のために、子育てメール相談『すこやかメール相談』も開設しています。

★子育てメール相談『すこやかメール相談』のアドレス

⇒　kosodatem@pref.iwate.jp

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

２．教振なう！　　『最新情報を「まなびネットいわて」で！』

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

（振ちゃん）暑い・・・。溶ける・・・。

（教ちゃん）どうしたの、振ちゃん。今日はテンション低いわね。

（振ちゃん）だって、毎日暑いし、瀬戸内海の合宿にも行けなかったし・・・。（「いわてマナビィマガジン第 116 号」参照）

（教ちゃん）まったく、しっかりしてよ。『まなびネットいわて』を見た？内閣府が毎年行っている「青少年のインターネット利用環境実態調査」の最新データ（平成 27 年度調査結果）が掲載されているのよ。

（振ちゃん）ふ～ん。そうなんだぁ～。

（教ちゃん）もう～、それが大変なのよ。小学生のスマートフォン・携帯電話の所持率がまた上がったのよ。平成 22 年度の調査開始時は 20.9%だったのが、今（平成 27 年度調査）では 50.2%（前年比 4.1 ポイント上昇）なの。小学生の 2 人に 1 人は持っている時代になっちゃったのよ。

（振ちゃん）本当？たった 5 年で・・・？中学生はどうなの？

（教ちゃん）中学生は 60.9%（前年比 0.5 ポイント上昇）と、一見、前度と変わらないように見えるけど・・・。実はね。

（振ちゃん）え～、それは大変だぁ～！

（教ちゃん）まだ何も言ってないわよ。もう～、ちゃんと聞いてよ。

（振ちゃん）は～い。（しょぼん・・・）

（教ちゃん）平成 22 年度当時は携帯電話の所持率 48.0%に対して、スマホの所持率はたった 1.3%だったの。けれど、今（平成 27 年度調査）では携帯電話の所持率は 17.1%に下がって、スマホの所持率が 45.8%になっているの。

（振ちゃん）え～、それは大変だぁ～！

（教ちゃん）平成 22～25 年度と 26 年度以降で調査の仕方が違うということなので単純に比較できないそうだけど、そういう傾向はあると思うのよね。

（振ちゃん）『まなびネットいわて』には、最新の情報が掲載されているんだね。他にも新しい情報が掲載されているの？

（教ちゃん）「出会い系サイト及びコミュニティサイトに起因する事犯と対策について（警視庁）」も新着情報として掲載されているわよ。「ま・な・び・ネ・ッ・ト・い・わ・て」を検索してみてくださいね。

（振ちゃん）そうか！『まなびネットいわて』で情報収集するのも、情報メディアとの上手な付き合い方になるんだね！

（教ちゃん）「情報メディア」は、上手に使うと便利なものなのよね。

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

３．編集後記　　～ピエロが行く！～

★ ―――――――――――――――――――――――――――――――― ★

県では『幸福に関する指標』を次期県民計画の指標としようと、岩手に根差した風土や文化、暮らし東日本大震災津波からの復興に大きな力となっている地域や人のつながりといった、岩手ならではの豊かさに着目し、幸せの概念や幸せに関する領域、指標の種類等についての検討に入っています。

2011 年に法政大学大学院が発表した『47 都道府県の幸福度ランキング』によると岩手県の幸福度は全国 22 位でしたが、他県との比較ではなく岩手らしい幸せの定義とその領域の向上に向けた施策の推進は、本県をより良いものにしていくことと期待されます。

特に高橋嘉行教育長のイクボス宣言にある「岩手の子どもたちは、岩手の宝であり、未来・希望です。この子どもたちを安心して生み育てることができる環境を、この岩手の地で整えていかなければなりません」を実現することは幸福度につながるものと考えます。更に、「教職員が自らの家庭でも子どもと向き合う時間を確保できる環境づくりに取り組みます」等、教職員のワーク・ライフ・バランスの推進も幸福度の向上につながっていくものと思います。

先日、「ブラック部活」を取り上げるＮＨＫの番組を見ました。体罰こそ減少してきていますが、人権を無視した暴言と練習の長時間化が大きな問題となっていて、それでも生徒は辞めることができないということでした。文部科学省より、部活動休養日の提案が報道されたことも記憶に新しいところです。イクボス宣言や幸福度を契機に、先生も生徒もワーク・ライフ・バランスを考える時期にきています。

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

このメールマガジンは、県内小中学校、社会教育関係者及び生涯学習・ 社会教育に関心を持たれている登録者の皆様に無料で配信しています。 ご意見・ご感想、登録・登録解除は下記アドレスにご連絡ください。 ⇒　E-mail；atu-satou@pref.iwate.jp
メルマガのバックナンバーをセンターＨＰ「まなびネットいわて」で閲覧できます。⇒　http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/
左下の「発行物・刊行物」＞「いわてマナビィマガジン」をクリック

▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼▲▼

発　行：岩手県立生涯学習推進センター　（花巻市北湯口 2-82-13）
編　集：佐　藤　敦　士